文部科学省「大学の世界展開力強化事業」

ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成

主に極東地域の経済発展を目的として

Fostering Bridge Personnel between Russia and Japan
on Life Care for Economic Development in Russian Far East

事業責任者　国際教育センター所長　教授　山本佳男

先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

【事業実施の背景】

先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

日露「8項目の経済協力」プラン

平均寿命69歳
健康寿命61歳

健康寿命の伸長	ロシアの産業多様化・生産性向上
活動しやすい都市作り	極東の産業振興・輸出基地化
中小企業交流・協力の抜本的拡大	先端技術協力
エネルギー	人的交流の抜本的拡大

1970年代より 医学、健康、体育、工学等の複合領域でライフケア人材を育成

「健康寿命の伸長」と「高いQOL（Quality of Life）を保つ健康長寿社会の創出」

平成30年4月「健康社会」で活躍する人材育成　**健康学部健康マネジメント学科設置**

ロシアとの40年以上の国際交流　**本学の国際交流の理念「学術交流を通じた世界の恒久的平和の実現」**

旧ソ連・東欧の社会主義諸国との交流促進こそが日ソ間の関係を確実にし、日本の安全と経済発展に有益

【ロシアとの国際交流の実績】

先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

40年以上に亘るロシアとの国際交流の実績、交換留学生数は延べ1000名超

昭和48年　モスクワ大学との学術交流協定締結
昭和49年　モスクワ大学からの留学生受入れ開始
昭和62年　アジア環太平洋学長・研究所所長会議
第2回（平成3年）、第9回（平成16年）をウラジオストク（極東国立総合大学）で開催
平成元年　極東国立総合大学との学術交流協定締結/東海大学海洋調査実習船「望星丸」のウラジオストク港入港
平成5年　東海大学同窓会支部設置

平成17年　日露修好150周年記念行事「ウラジオストク演武会」
平成19年　日露学生フォーラムの共催
平成21年　プーチン首相（当時）に名誉学位授与
平成25年　モスクワ大学との学術交流協定締結40周年記念式典
平成26年　ユーラシア学生フォーラムの共催
平成27年　東方経済フォーラムに本学学長初参加

1970年代から工学、理学、情報解析、基礎・臨床研究、遺伝子研究、運動生理学、社会科学等の**複合領域におけるアプローチ**から、**病気の早期発見**と**健康増進**を目指す**「21世紀型のライフケアの創造」の研究へ**

【交流プログラムの内容】

先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

連携大学と協働人材育成プロセス

極東連邦大学
ウラジオストク

極東総合医科大学
ハバロフスク

サハリン国立総合大学
ユジノサハリンスク

モスクワ国立大学
モスクワ

国立研究大学高等経済学院
モスクワ

基礎 海外研修（2～4週間/双方向） 他大学参加

中期・長期交換留学への動機付けとしての海外研修。海洋調査実習船「望星丸」での大規模海外研修も実施
《受入》 ライフケア関連企業、付属病院抗加齢ドック、健診センターの視察等
《派遣》 ロシアの医療、健康産業、公衆衛生等の現場視察、ロシア人学生とのワークショップ等

強化 中期・長期交換留学（6/12ヵ月/双方向）

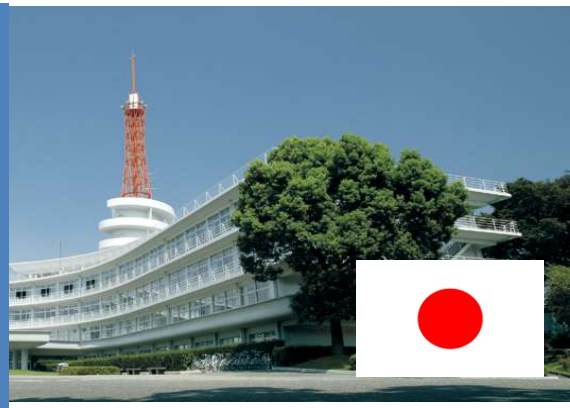
単位取得型留学。危機管理研修を含む渡航前教育、渡航後の成果報告会やキャリア形成科目の受講含む。
《受入》グローバル・プログラム科目群履修、学生フォーラム企画運営、付属病院の抗加齢ドック等補助、日本企業視察等
《派遣》ロシア語科目・英語開講専門科目の履修、インターンシップ等

健診人材実務者研修（2～6週間/双方向）

画像診断、健診センターの実務者研修。医療機器メーカー、医療病院コンサルタント等との産学連携事業として実施
《受入》画像診断・超音波診断機器の実習研修
《派遣》本学医学部生の海外臨床実習（単位認定）

ダブル・ディグリー・プログラム（学位取得型）

大学院レベルでの単位の相互修得を制度化。主に極東連邦大学との連携で実施し、実績をもとに他の連携大学へ展開



東海大学

健康関連分野を中心に全19学部・全17研究科

平成30年設置
健康学部・文化社会学部

日本対外文化協会

健康関連分野の民間企業等

【プログラムの目標設定】

先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

達成目標
日露の社会制度に精通し健康社会を牽引する即戦力として活躍する人材の養成

日露間の関係深化と経済発展に資する人材の育成

5つの成果指標

①交流留学生総数　**420名**

②中期・長期交換留学参加者の**80%**が卒業時に**基準の語学力**取得

③中期・長期交換留学参加者の**80%**が**卒業時GPA3.0以上**

④インターンシップに協力する日本企業等を**30社**に

⑤インターンシップに協力するロシア企業等を**20社**に

本事業で計画している交流学生数

	H29		H30		H31		H32		H33		合計	
各年度の派遣及び受け入れ人数（合計）	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	15	15	70	60	30	30	30	30	75	65	**220**	**200**
海外研修 H30, 33 は海洋調査実習船での航海研修	13	13	60	50	15	15	15	15	60	50	163	143
健診実務者研修	2	2	5	5	5	5	5	5	5	5	22	22
中期・長期交換留学	0	0	5	5	10	10	10	10	10	10	35	35

基準の語学力の考え方
TOEIC 730点（一部上場企業商社の海外赴任基準）
ロシア語検定試験第1レベル（ロシアの大学への入学基準）

基準の語学力の達成に向けたプロセス
英語：GTECの毎年受験、TOEIC, TOEFL対策講座
ロシア語：ロシア語副専攻、ロシア語検定試験対策講座

【養成する人材像】

先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

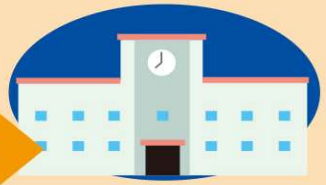
養成する人材像：4つの能力

ロシアの大学

活用

日露企業が求める人材に関する調査研究
調査結果（東海大・極東連邦大）

活用



日本の大学

計画・改善

ライフケア分野に関連する広い専門知識	チャレンジ精神をもって実務に応用できる実践力	確かな語学力とコミュニケーションスキル	日本文化と異文化理解教育による確固たる世界観、歴史観
●ウェルネス実践論 ●国際経営論 など	●ユーラシア学生フォーラムの運営 ●インターンシップ など	●ロシア語検定第1レベル ●TOEIC730点 など	●グローバル・プログラム科目群 など

スチューデント・アウトカム

グローバル人材の活躍フィールド

ビジネス界（商社、健康スポーツ、医療機器、生体検査、機能性食品、医療コンサルタント、医療通訳など）、政府、政府系機関、官民パートナーシップ（PPP）、国際機関（例：WHO、FAO、ITUなど）、NGO・NPO、大学、研究機関、病院、高度医療機関（画像診断、検診センターなど）、日露予防医療診断センター（仮称） など

プログラム・アウトカム

日露健康寿命の伸長、日本型ライフケアの輸出、極東地域における投資拡大

サポート

東海大学極東オフィス
極東連邦大学東海大学オフィス

サポート

【プログラム実施体制（受入）】

先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

東海大学極東オフィス

国際連携コーディネーターの常駐
巡回教員による指導

●連携大学での渡航前教育
　サバイバル日本語
　危機管理研修
●現地プログラム委員との連携
　個別の留学計画の作成
　SNSでの留学中の情報交換

ロシアの連携大学
極東連邦大学、極東総合医科大学等

●インターンシップ実施
健康医科学推進協議会加盟11社、医療機器メーカー、医学部付属病院の健診センター・抗加齢ドック等

●神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室との連携

国際教育センター

外国人留学生向けワンストップサービス

多言語
カウンセリング
担任制による支援

日本人学生
チューター／
ラーニングサポーター

多言語
医療サービス

安全安心な勉学に専念できる環境

学内の
留学生寮

多言語
履修、生活
サポート

●極東連邦大学東海大学オフィス

グローバルラーニングコモンズ
Global AGORA

【プログラム実施体制（派遣）】

先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

FEFU FAR EASTERN FEDERAL UNIVERSITY

- 連携大学共同プログラム委員会
- 国際部

東海大学極東オフィス

- 留学中の履修相談
- 生活相談・支援
- インターンシップ支援
- 安全・健康管理
- ソーシャルメディアを使った相談・支援
- 同窓会極東支部の運営
- 本邦他大学からの派遣学生への支援

国際連携コーディネーター
巡回教員

国際教育センター

- 渡航前教育
- 海外安全対策
- 海外危機管理・安否確認
- 留学相談
- グローバルラーニングコモンズ（Global AGORA）

派遣学生支援体制の強化

- Skypeでのカウンセリング
- Facebookでのオンライン同窓会
- 東海大学同窓会極東支部の設置
- 海外危機管理セミナーの実施

インターンシップと就職支援

- 渡航後の就職支援
- 極東オフィスとの連携

民間企業と連携したリスク管理体制の強化

《渡航前》日本アイラックによる危機管理セミナー
《渡航後》日本アイラックの危機管理サービス
H.I.S.による緊急時支援
JTB「ALERT STAR」による緊急情報発信

R&C Find a Solution 一歩先の解決へ　H.I.S.　JTB

【成果報告と国内外への情報発信】

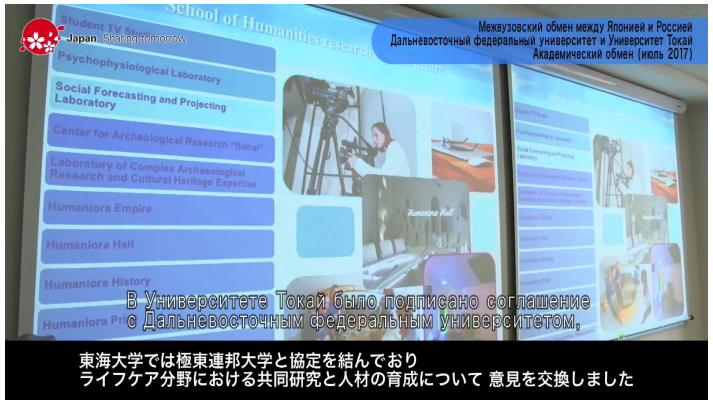
先駆けであること
~Think Ahead, Act for Humanity~
東海大学

国内外の大学や公的機関、産業界にその成果を広く発信

- **日露企業が求める人材に関するアンケート調査**の結果を日露の大学、産業界へ発信
- インターンシップ
- ウェブサイト（日・露・英）での情報発信
- ソーシャルメディアでの情報発信
- ニュースレターの作成・配信

- シンポジウムとワークショップの開催

平成29年　スタートアップシンポ（日本）
平成30年　ワークショップ（ロシア）
平成31年　中間報告シンポジウム（日本）
平成32年　ワークショップ（ロシア）
平成33年　成果報告シンポジウム（日本）



文系・理系の枠にとらわれない文理融合の教育、医工連携、
新設される文化社会学部と健康学部でQOL向上に貢献する。

Think Ahead, Act for Humanity

東海大学「大学の世界展開力強化事業」特設サイト

www.russia.u-tokai.ac.jp